

授業作り	重点	・基礎・基本の定着と主体的・対話的で深い学びの実現。
環境作り		・ICT機器・タブレット端末の使用を意識した、授業スタンダードの確立。 ・デジタルドリル等のデジタル教材の活用。

■ 各教科の取組について

教科	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子などから)	目標達成のための取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の学力調査で、大部分の項目で全国平均を上回った。</li> <li>・話すこと、聞くことの項目が弱い。自己表現能力も伸ばしたい。</li> <li>・漢字や文法など、言語事項の得点力をさらに付けていく必要がある。</li> <li>・作文力をあげる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学んだ学習内容を、確実に定着させる授業を行う。</li> <li>・スピーチ・発表活動・協働学習を通じて、自己表現力・コミュニケーション力を付ける。</li> <li>・練習問題を解きながら、言語事項を一つ一つ確実に身に付ける。</li> <li>・作文を数多く書きながら、表現力を伸ばす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめに課題を与える。評価・点検をきちんと行っていく。</li> <li>・スピーチなどの発表活動や協同学習を日常的に数多く行い、自己表現力や発表力をつけさせる。</li> <li>・小テストを回数多く行い、知識の定着をはかる。デジタル教材やデジタルドリル等を活用して問題練習を積極的に行う。</li> <li>・作文テストを定期的に行うと同時に、授業の中で文章を書かせる機会を数多く設定していく。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの学年で、数学的事象の思考・判断・表現する力が十分に身に付いていない。</li> <li>・第1学年では、基礎的な計算が十分に定着できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを表現する時間を十分に設ける。</li> <li>・基礎的な計算ができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の考えをまとめる時間を十分に確保し、小さなグループでの活動の時間を設ける。</li> <li>・課題や小テストなどを定期的に行うことで、基礎的な知識・技能の定着を図る。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な力が十分に付いていない生徒への対応が必要である。</li> <li>・思考力・表現力の充実が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の確認を随時行いながら授業を行う。</li> <li>・実験のまとめ等で、話し合い活動を取り入れるなど、発表の機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年において、重要語句の反復学習を毎時間行う。</li> <li>・自己の考えをまとめ、発表を行うため、準備の時間を十分にとるよう心掛ける。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの学年において、社会的事象について基本事項の確認をしていく必要がある。</li> <li>・社会的事象を理解するだけでなく、なぜそのようになったかという因果関係についても追究する力を付ける必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象への知識・思考力の定着を図る。</li> <li>・調べ学習や話し合い活動を通じて主体的な学習に取り組む態度を育成していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史用語や地理用語など基本的な知識を身に付けるため副教材のワークだけでなく、デジタルドリルを活用する。</li> <li>・タブレット端末と思考ツールを活用し社会的事象について多面的・多角的に分析したり追究したりする活動を行う。</li> </ul>

	<p>要がある。</p>		
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニングにおいては、基礎的な力が身に付いている。</li> <li>・英文を書く力が十分に身につけていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーキング活動の発展</li> <li>・英単語、英文を書く力を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーキングテストに向けての話す活動を昨年度後半導入したが、まだ不十分ではあるので、今年度はさらに活動の種類を増やし、話す活動を充実させたい。</li> <li>・英語を書くことに抵抗のある生徒がいるため、英単語を授業内で書く時間を各授業で少しずつ入れる。</li> </ul>